

地域高規格道路 境港出雲道路
松江北道路 第1回意見交換会

松江北道路計画検討事務局

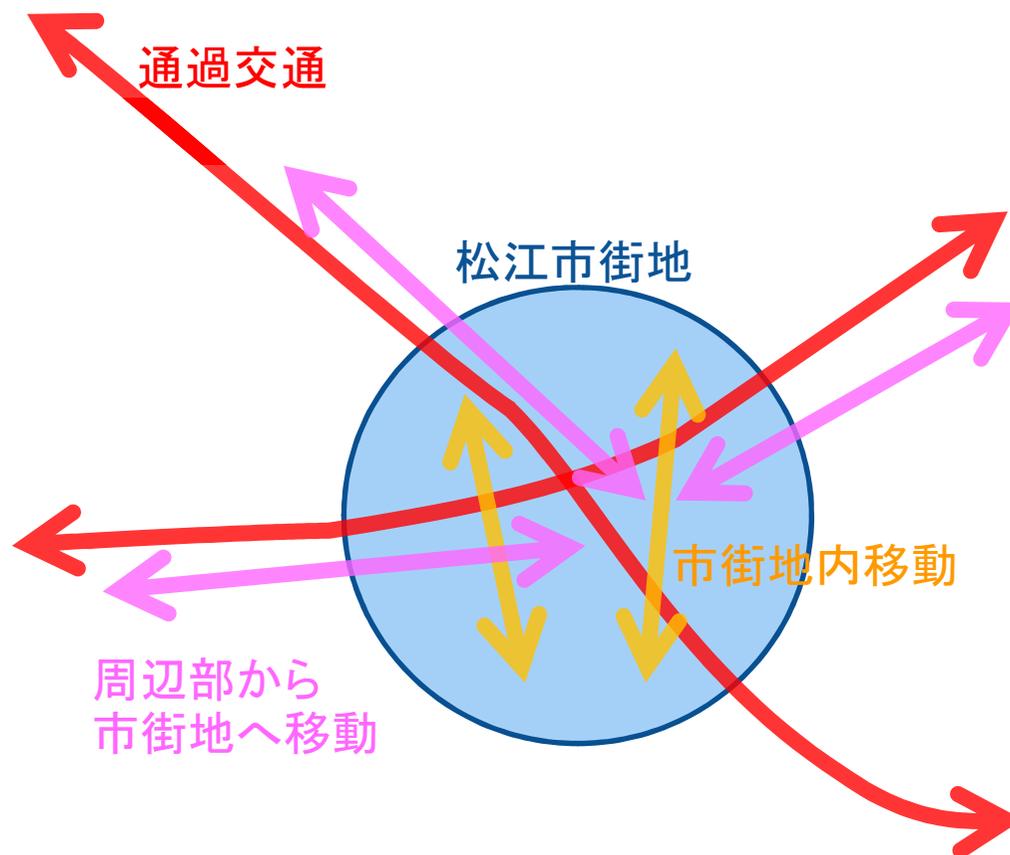
松江市内の道路では、交通渋滞や移動時間の増大、災害への備えといった課題が発生しています。

こうした課題に対応するために、道路の概略計画策定段階から、みなさんにご意見を伺いたいと思います。

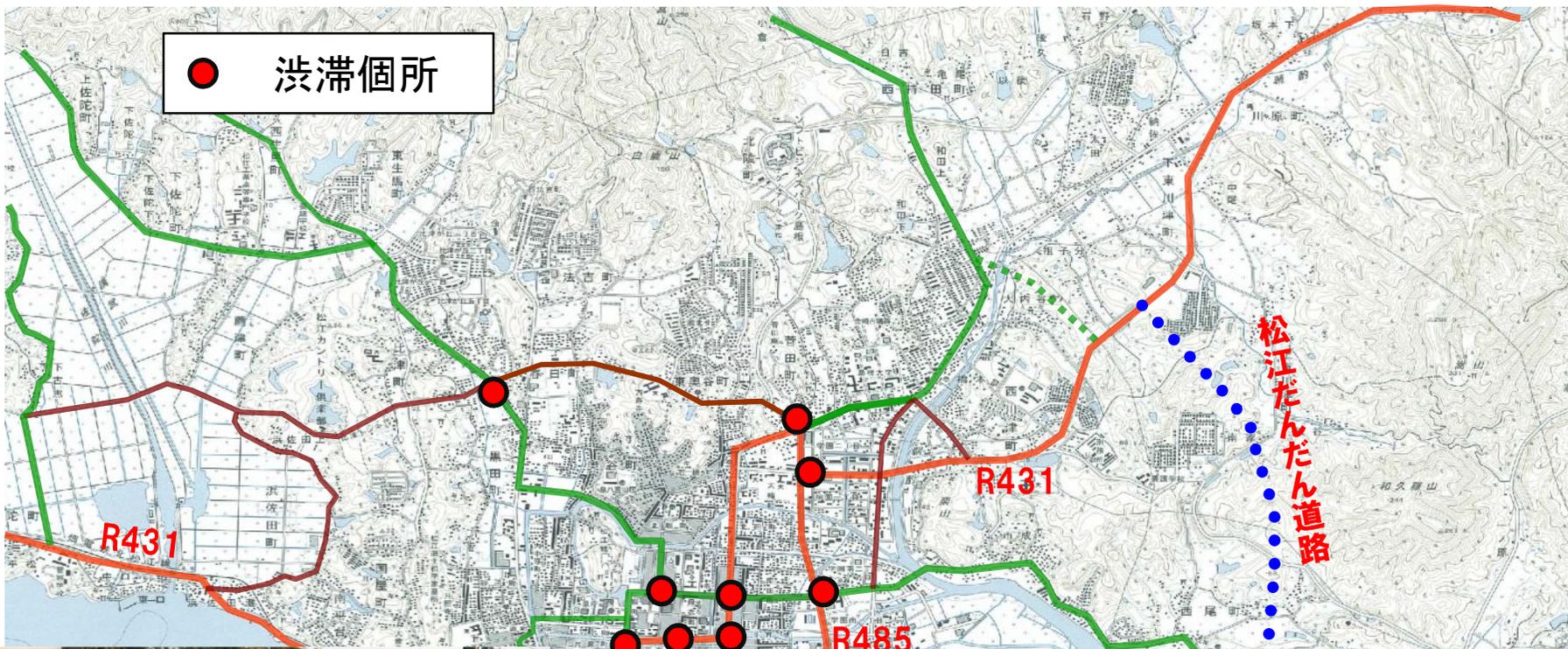
松江市内道路ネットワークの現状と課題

交通渋滞

- ・ 松江市内では、特に朝・夕の通勤時間帯において、市街地内移動、周辺部から市街地への移動及び市街地に流入する通過交通が錯綜し、**交通渋滞が慢性的に発生**しています。



交通渋滞



交通事故

- 交通量の多い中心部に行くほど交通事故が多い状況です。

▼主要道路の交通事故発生状況（H17年～H21年）

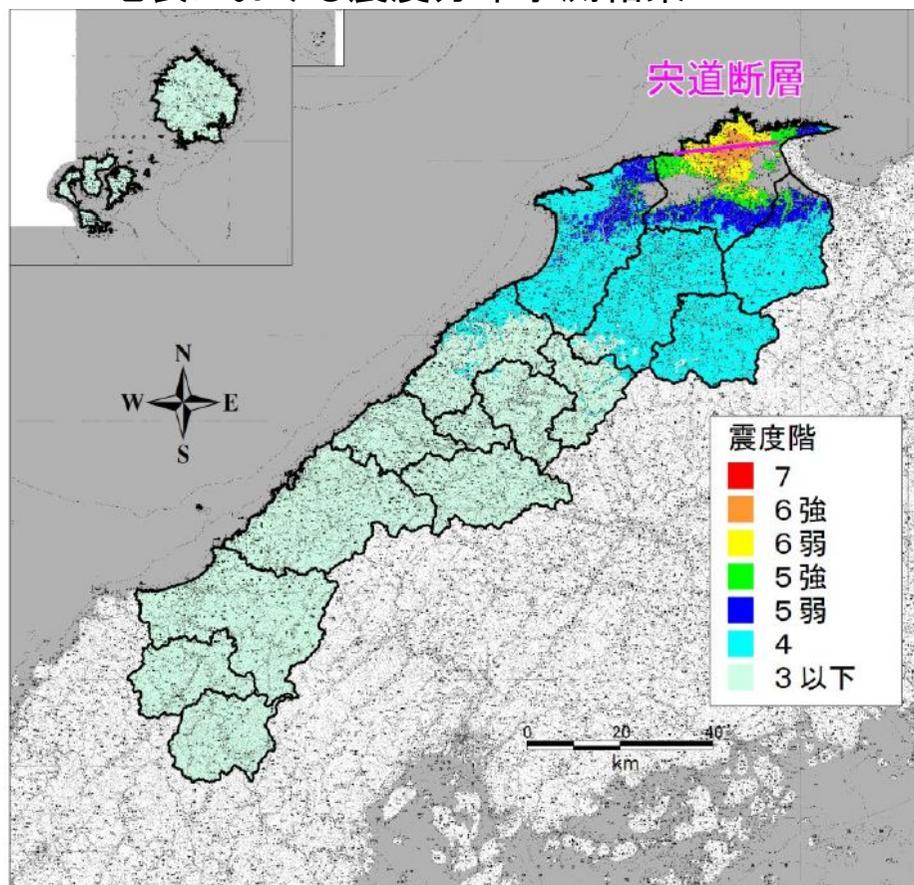
路線名	交通事故件数 (松江市内)
国道431号(松江市内)	321
国道485号(松江市内)	186
(主)松江島根線	197
(主)松江鹿島美保関線	189



災害・緊急時の備え

- 松江市中心部は宍道断層帯による地震の被害が想定されています。
- 災害時に備え、緊急車両の通行や支援物資の輸送を安全に行うための対策が必要です。

▼地表における震度分布予測結果



出典：島根県地震被害想定調査報告書（平成24年6月）

災害・緊急時の備え

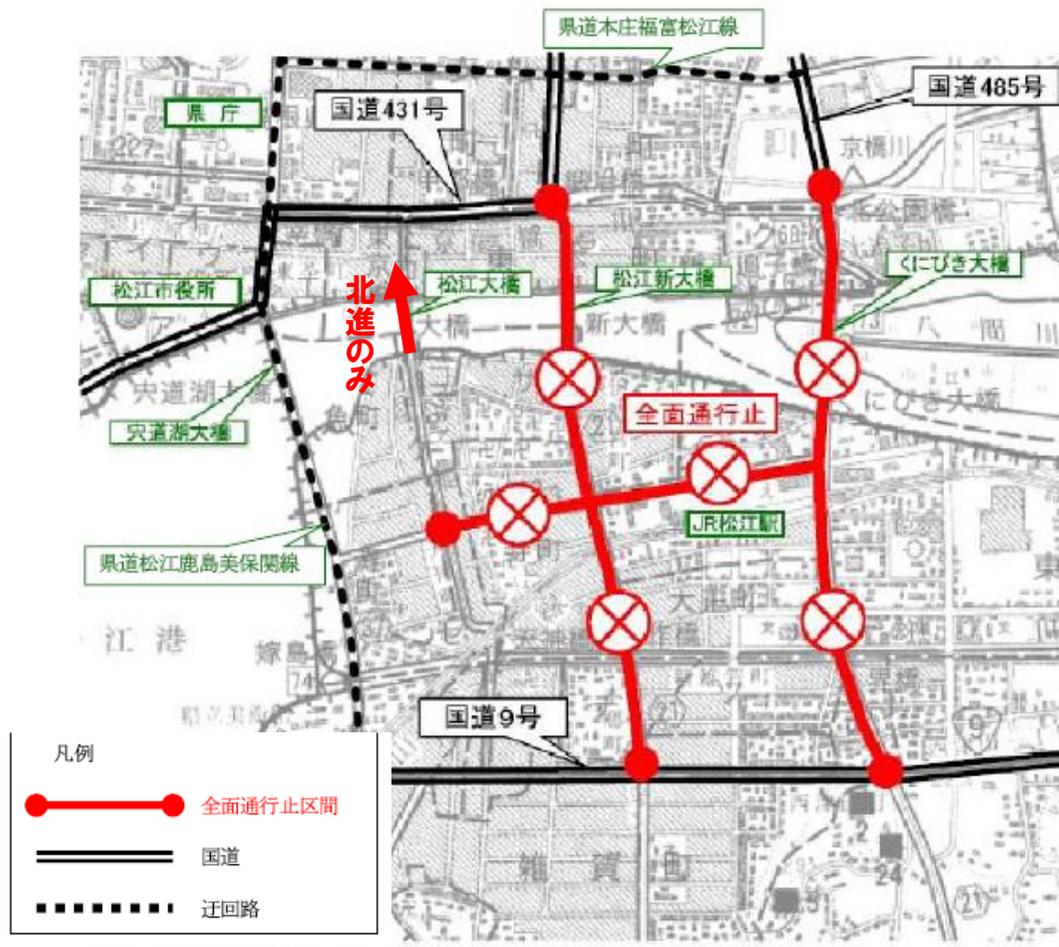
- 平成18年7月の豪雨では、地盤の低い大橋川周辺を中心に、市街地が2日間にわたり浸水し、**新大橋やくにびき大橋で通行止め**となりました。
- 幹線道路の**複数ルート**構築が必要となります。

▼H18年7月豪雨による浸水被害
(JR松江駅前)



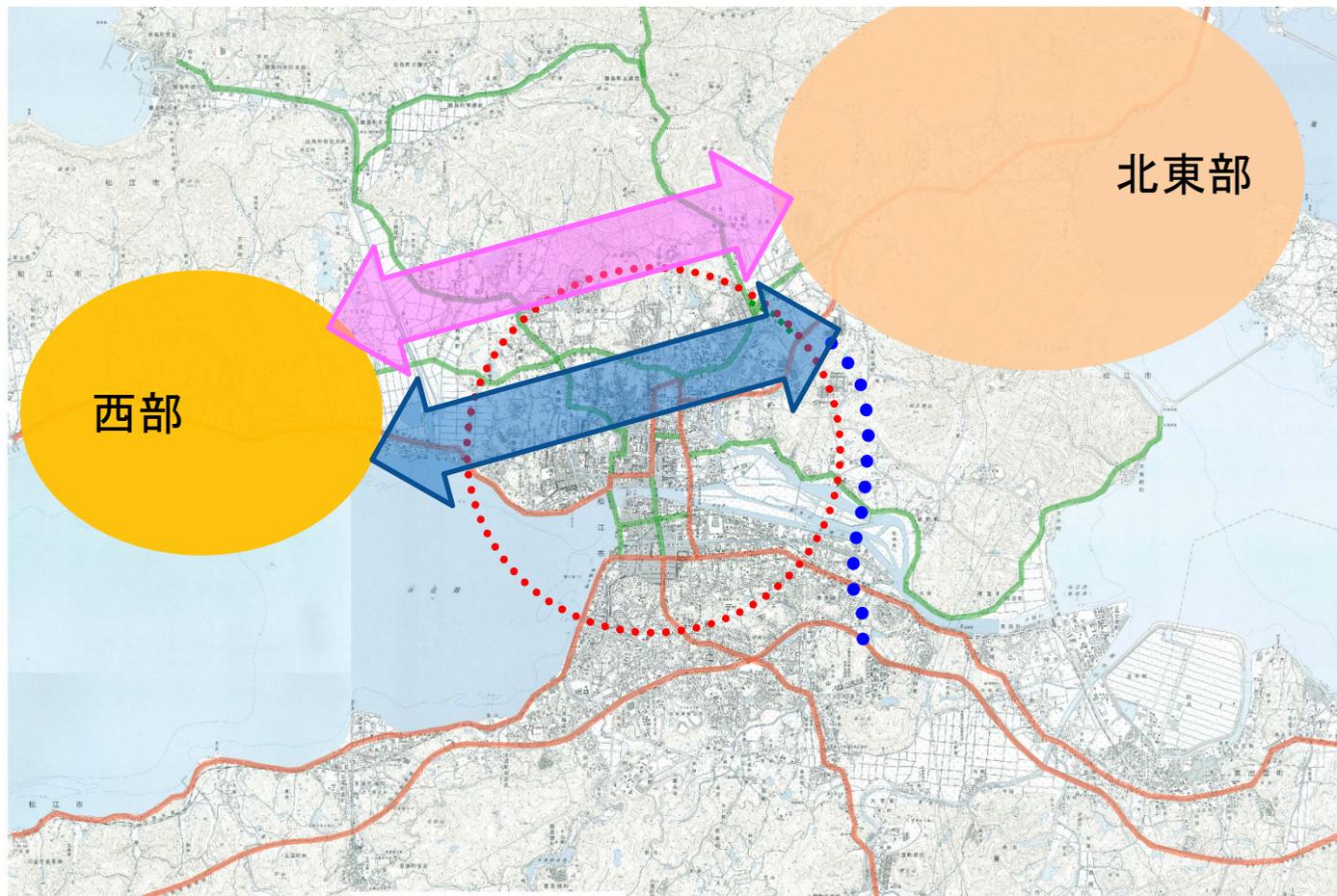
出典:松江市都市計画マスタープラン

▼H18年7月豪雨時の規制状況



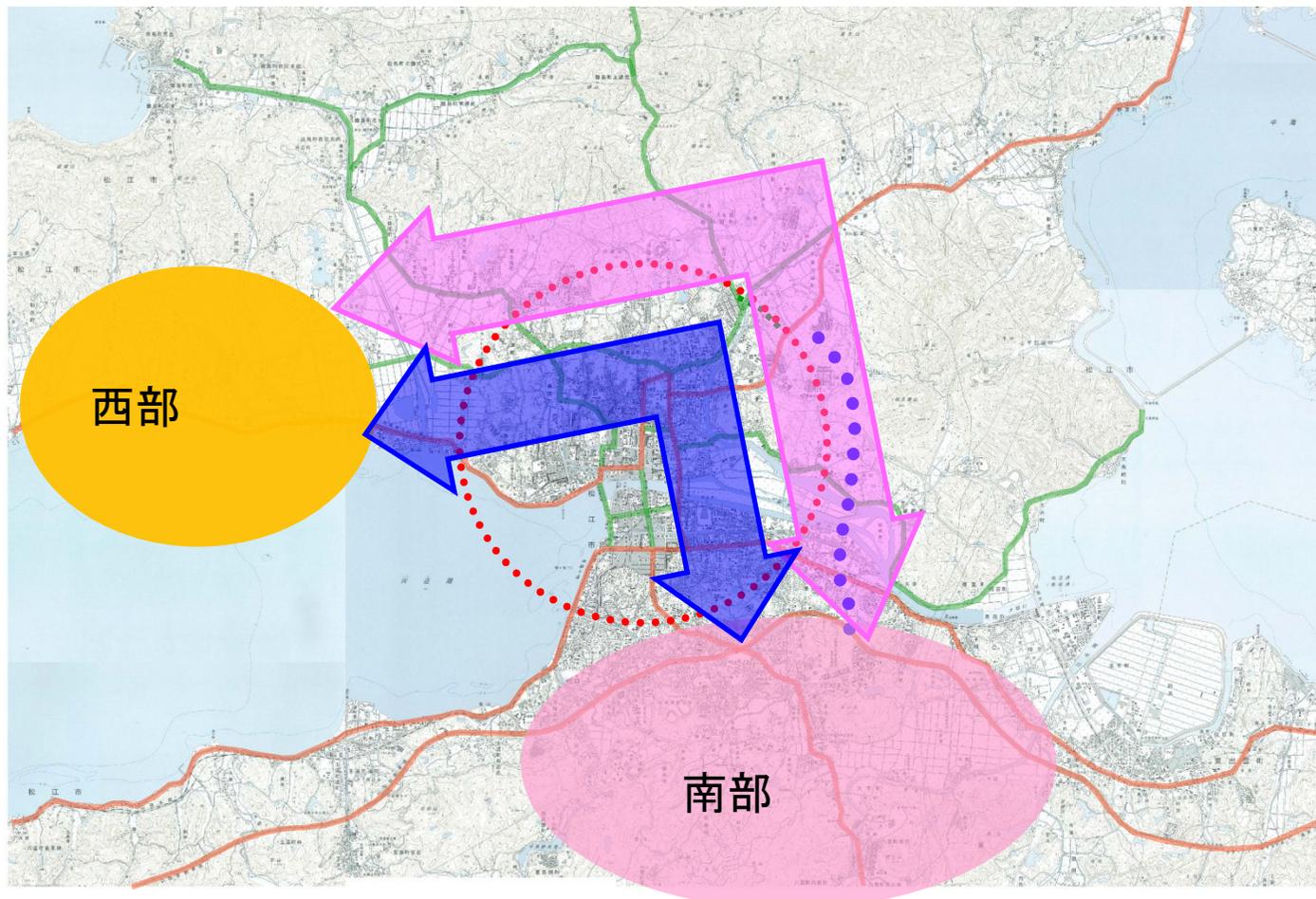
災害・緊急時の備え

- ・ 災害時や避難時、事故等による通行規制の際、**複数ルートの確保**が必要です。



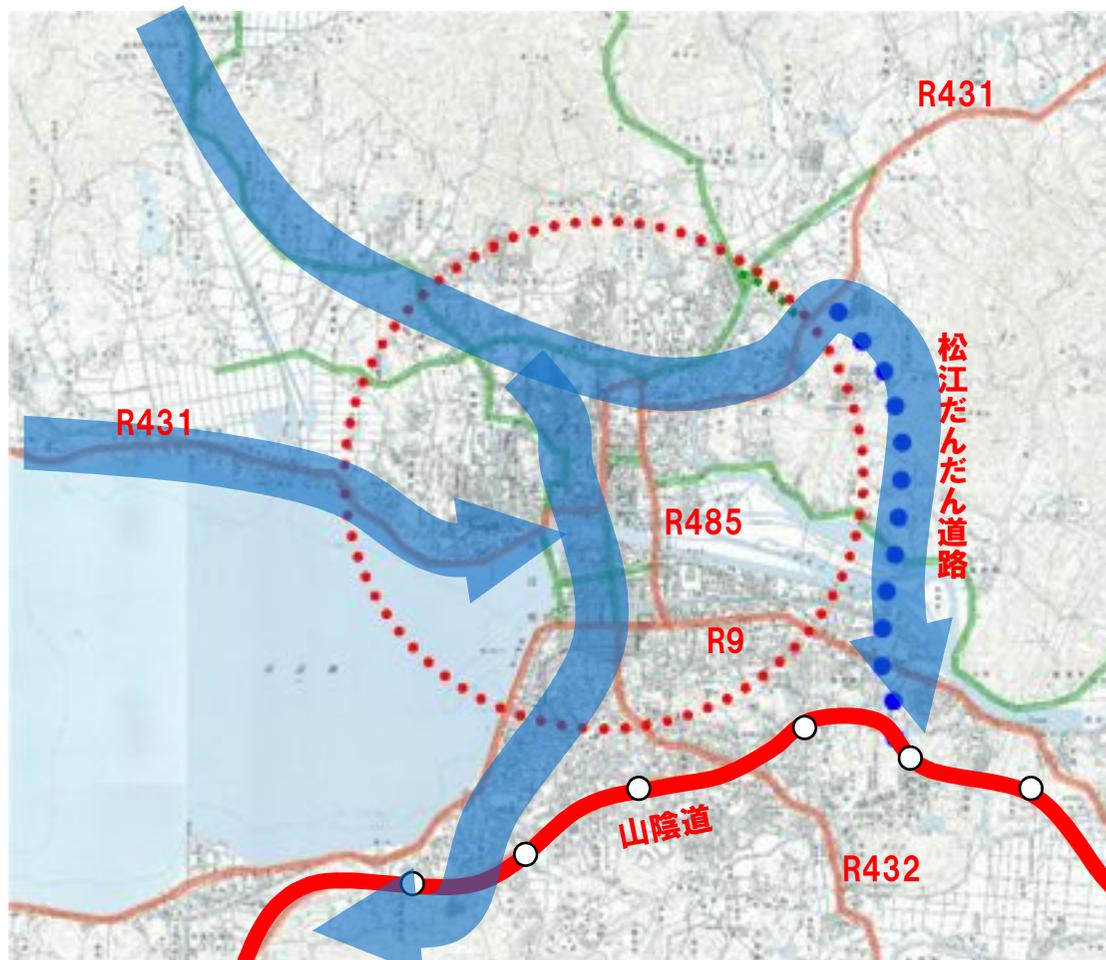
災害・緊急時の備え

- ・ 災害時や避難時、事故等による通行規制の際、**複数ルートの確保**が必要です。



山陰道へのアクセス

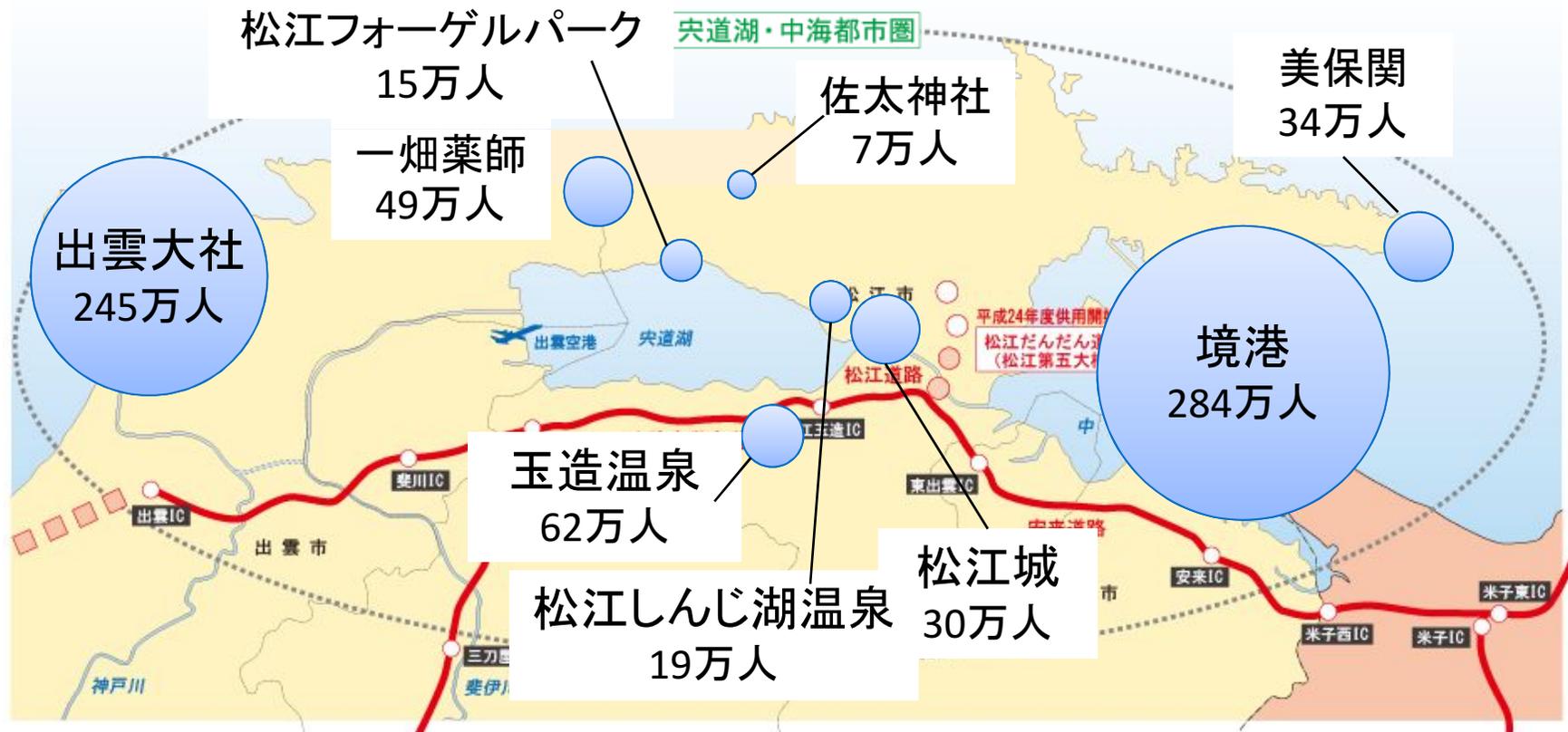
- 市内西部や北西部からの山陰道アクセスに関しては、市街地内を通過する必要があり、所要時間が増加し**高速道路ネットワークの利便性が低い状況**にあります。



宍道湖・中海圏域の連携（観光振興）

- ・宍道湖・中海都市圏の観光振興では、出雲大社と境港への入込客数が多くなっています。このうち境港から島根県内観光地への周遊では、松江市街地の経由が多く、**所要時間の短縮が求められています。**

▼主要観光地の観光入込客数



資料:平成23年島根県観光動態調査結果,鳥取県観光客入込動態調査結果

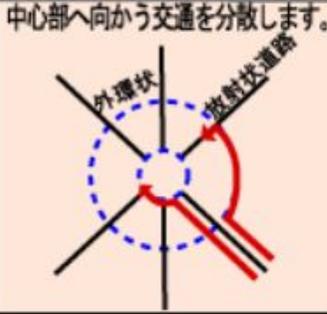
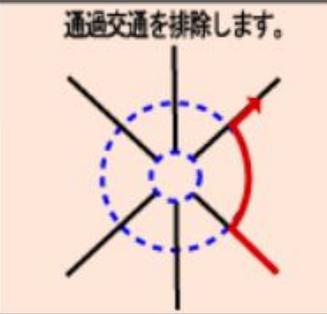
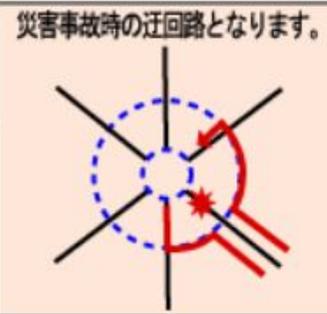
松江市内道路ネットワークの 課題解決に向けて

松江市の環状道路



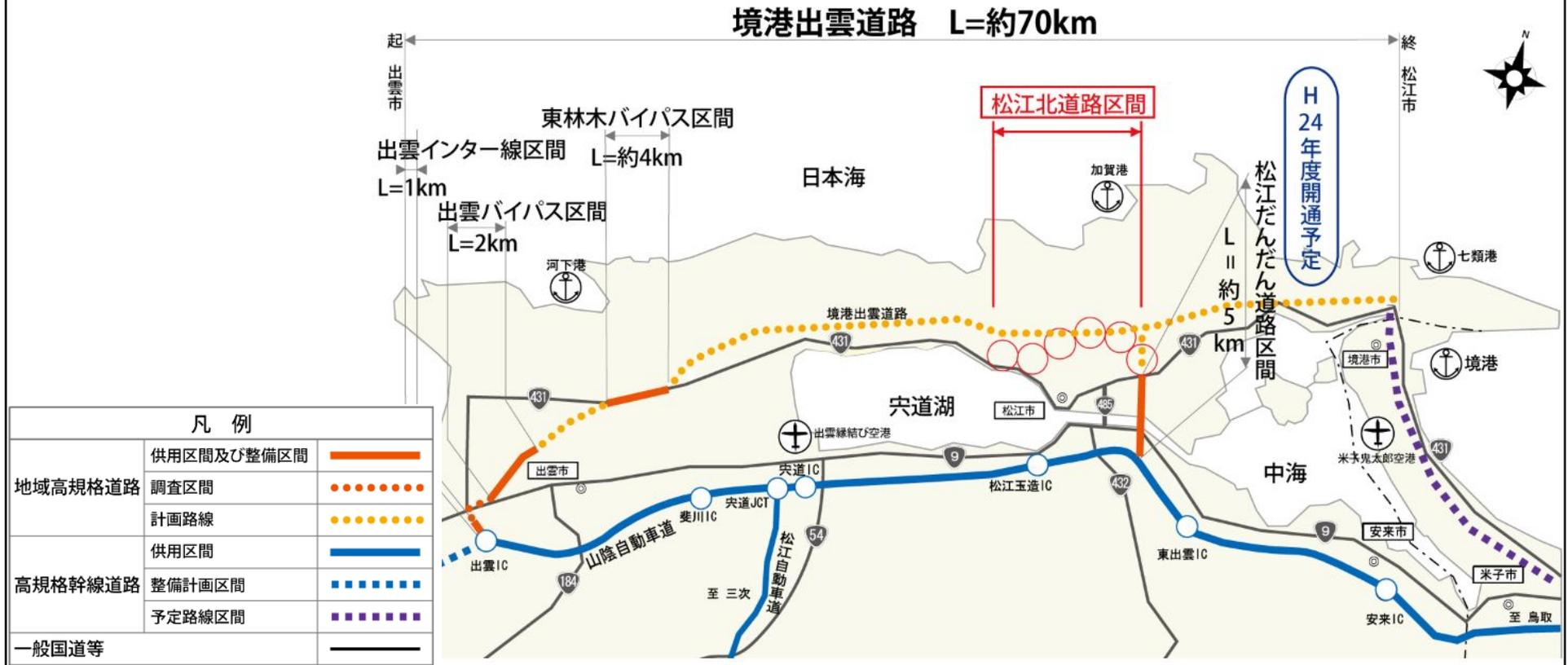
(松江市都市計画マスタープラン)

環状道路整備による交通円滑化

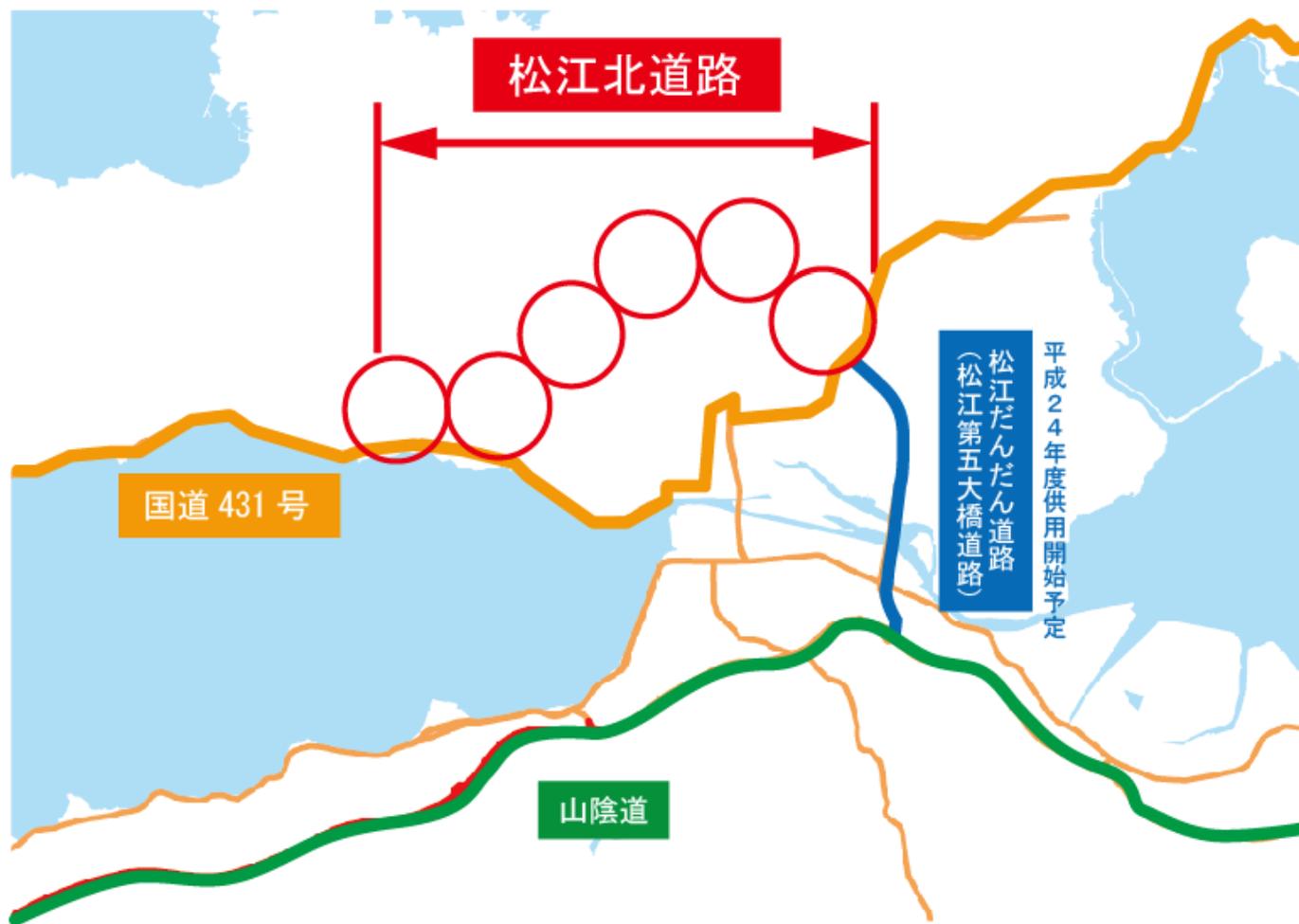
<p>1. 交通分散機能</p>	<p>中心部へ向かう交通を分散します。</p> 	<p>郊外と中心部を結ぶ経路選択の幅が広がり、渋滞する交通を分散させることができます。</p>
<p>2. バイパス機能</p>	<p>通過交通を排除します。</p> 	<p>中心部に目的地を持たない通過交通が市街地を通らなくて済むことで、渋滞が緩和します。</p>
<p>3. 非常時の迂回機能</p>	<p>災害事故時の迂回路となります。</p> 	<p>災害、事故、工事等により一部不通区間が生じた場合に、速やかな迂回が可能となります。</p>

- ・ 山陰道出雲IC～境水道大橋（延長約70km）
- ・ 山陰の中核的な都市圏である**宍道湖・中海経済圏の連携を強化**するために、山陰道とともに宍道湖・中海都市圏の高規格な8の字ルートを形成します。

* 地域高規格道路とは、高速道路などと連携して広範囲な地域を結ぶ道路であり、高速道路と一般道路との中間的な役割を果たす道路です。



松江北道路は、**境港出雲道路の一部として**、また松江だんだん道路とともに**松江市の外環状線の一部として**、山陰道へのアクセス性向上に伴う物流の効率化、市内へ流入する交通の分散化に伴う渋滞の緩和等により、地域の発展に貢献することを目的に計画を検討します。



意見交換会



概略計画の決定



都市計画決定



新規事業化

松江北道路の計画策定にあたっては、意見交換会を開催し道路の概略計画（概ねのルートや基本的な道路構造など）策定段階からみなさんのご意見を伺います。



松江北道路の検討条件とルート

【道路構造規格】

①道路規格：第3種第2級

(第3種：高速道路や自動車専用道路
以外の地方部の道路)

第2級：平地部の国道で計画

計画交通量が4000(台/日)以上
20,000(台/日)未満の道路
(第3種の場合)

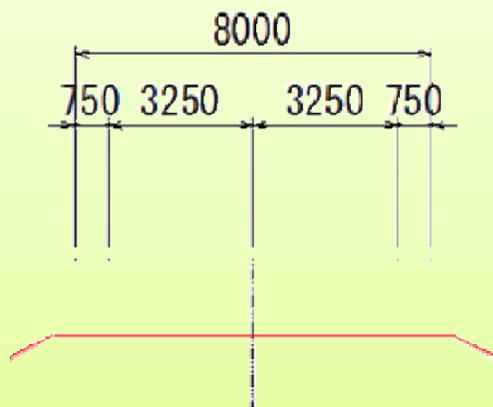
②設計速度：60km/h

③車線数：2車線

【交差点の集約】

- ・交差点を集約し、本線の走行性を確保します。

【基本的な横断構成】

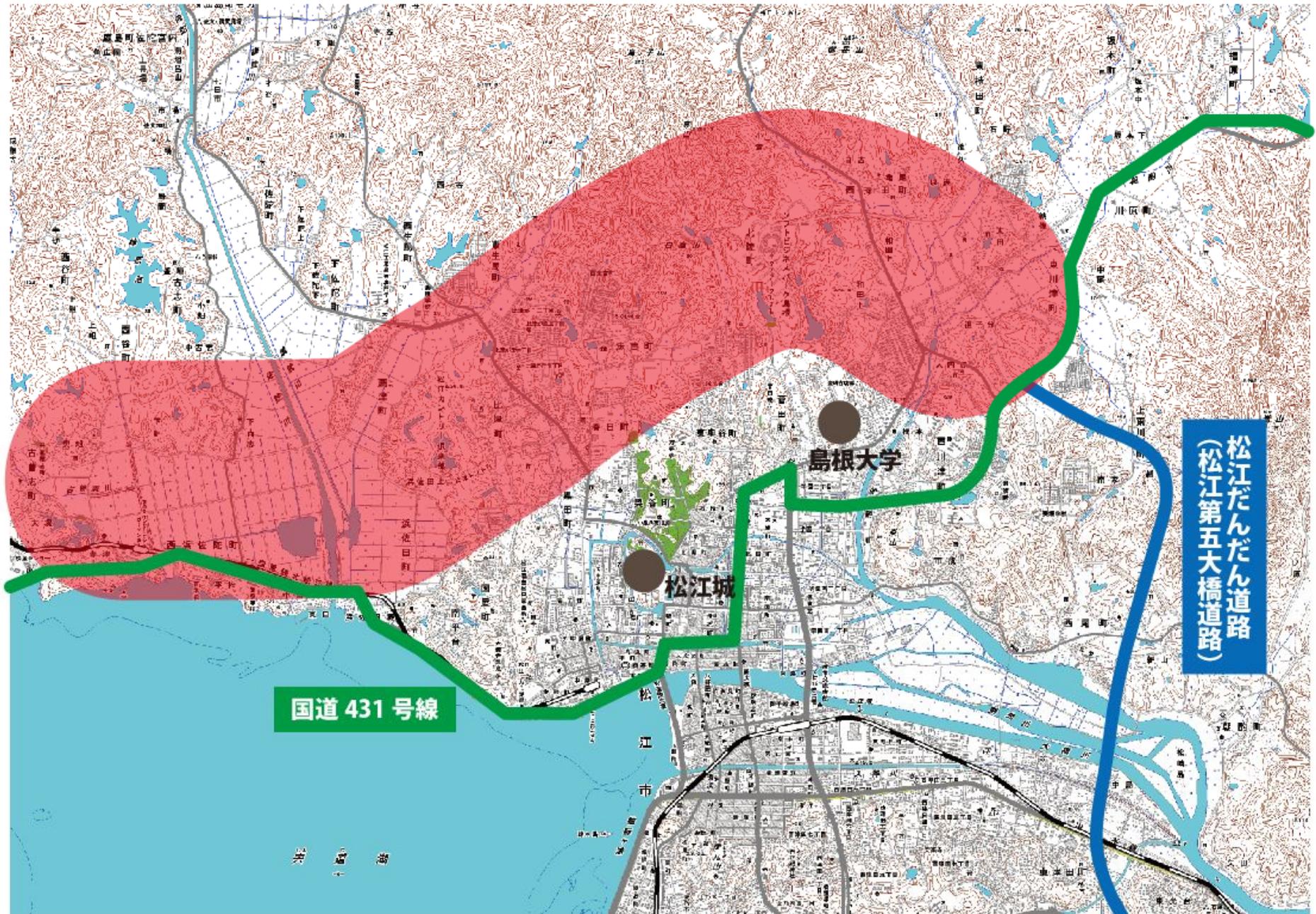


【イメージ写真】



【設計上考慮すべきポイント】

- ・ 地形地質：急傾斜地や地すべり地帯 等
- ・ 社会環境：病院、学校、養護施設、住宅密集地 等
- ・ 文化財等：神社、仏閣、名勝、史跡 等



◆次回の意見交換会では◆

第1回意見交換会でいただいたご意見等を踏まえてルート案を提示し、その考え方をご説明します。

◆日時・会場◆

日時・会場は、後日配布する「松江北道路だより」の中で、または島根県ホームページ等でお知らせします。

<http://www.pref.shimane.lg.jp/kosokudoro/>

◆松江北道路だより◆

意見交換会に参加できなかった皆様にも、本会の内容を伝えるため、「松江北道路だより」を発行します。